

No・オプション名	16) サイドウイング装置
使用機械	除雪トラック
使用工法	拡幅除雪, 雪び・雪堤処理, 歩道除雪
使用場所	道路(市町村道、県道、国道、高速)
使用法	<p>1. 拡幅除雪の段切り工法 サイドウイングによる段切り工法は、路肩に堆積した雪堤の雪を段切りして路側外に押出す工法で、郊外部や盛土形式の道路で使用される。</p> <p>2. 新雪除雪、路面整正との組合せ工法 プラウ、トラックグレーダとの同時施工で、ウインドロー(ブレードなどで排除した雪の列)処理や、郊外の歩道除雪に使用する。新雪除雪では、除雪幅を拡大する目的で使用される。</p>
機能構造	<p>10t級除雪トラックの側方に装着されるスノープラウで、先端を車体後方に向けて格納されているウイングを推進角(図参照)30~50°に開き走行することで、雪堤を路肩の外に押し出す機能を有する装置。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="355 853 826 1032"> <p>写真 除雪トラック側方に装着されたサイドウイング装置</p> </div> <div data-bbox="986 842 1270 1048"> <p>写真 サイドウイング装置</p> </div> </div> <p>格納姿勢から作業姿勢への操作手順(図参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウィングロック装置を開放し、平行リンクアーム(アッパーアームとローアームよりなる)を介してウイングを任意の段切り作業高さ(0~1400mm)まで下降させる。 2) 次に、油圧式調整管を伸ばして推進角を調整し、必要に応じてウイングチルトシリンダを伸縮してチルト角(サイドウイングの地上における左右の傾き)を調整して作業姿勢にする。 <p>作業姿勢から格納姿勢への操作手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウィングリフトシリンダを縮めてサイドウイング本体を上げる。 2) 油圧式調整管をストロークエンドまで縮める。 3) ウィングチルトシリンダを伸ばしウイングが水平で止まるまで上げる。 4) ウィングロック装置を固定する。 <p>上記は、サイドウイングの左端(車体より遠い側)が右端より下がっている場合である。逆に左端(車体より遠い側)が右端より上がっている場合は、調整管を縮めるとウイングチルトも強制的に下がりウイングが水平で止まるので、上記3)の操作は生じない。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="400 1659 791 1984"> </div> <div data-bbox="967 1727 1358 1984"> </div> </div> <p>図 サイドウイング装置の構造</p>

<p>特徴</p>	<p>沿道状況として郊外部や盛土形式の道路で家屋や樹木、電柱その他の構造物が道路に隣接していないなどの条件が整えば効率の良い拡幅作業ができる。</p>
<p>留意事項</p>	<p>除雪抵抗によるモーメントを前後輪で支えるため、抵抗が大きくなりすぎると車両の操縦が難しくなる。</p>
<p>図・写真</p>	<div data-bbox="491 510 1141 1012" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="611 1115 1182 1149">図 サイドウイング装置を搭載した除雪トラック</p> <div data-bbox="360 1249 1366 1989" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="552 2011 1267 2045">写真 サイドウイング装置による拡幅除雪作業(前方から)</p>

図・写真



写真 サイドウイング装置による拡幅除雪作業(後方から)

備考